

第59号

小中一貫教育 G だより

令和5年度からの「自立期」について

「自立期」においては、各中学校グループが自らの児童生徒の実態を踏まえ、義務教育9年間を通じて育成を目指す子どもの姿（資質・能力）を明確にし、発達段階に応じた指導・支援を行うことで、主体的に取り組む教育を展開していきます。

各小中一貫教育グループの取組の成果

各中学校グループが義務教育9年間を通じて育成を目指す子どもの姿（資質・能力）を育成するためのそれぞれの取組について紹介します。

「合唱交流会」

成果

- ・95%以上の児童が交流会は良かったと答えている。



「合唱交流会の様子」

「小中合同授業研究会」

成果

- ・授業におけるICT機器の効果的な活用方法等について共通理解を図ることができた。



「公開授業と授業研究会の様子」

「合同授業研究会」

- ・2つの小学校に中学校職員が分かれて参加。

成果

- ・各校3学級、合計6学級に35名の職員が別れて参加し小学校の熱心な研究に触れることができた



「授業研究会の様子」(Jamboard の活用)